

鯨職人 小野二郎の仕事 感想文

浅井 優子

小野さんは、自分の仕事に心底惚れ込んで  
いるからこそ、八十二歳になっても尚現役で  
働き続けられているのだらうなと思います。  
なかなかそういった仕事に巡り合える事は少  
なく、私も天職に出会えて本当に幸せだなと  
いつも思っていました。しかし、小野さんの  
話を聞いてそうではないかもしれないと気付  
きました。やりがいのある仕事に出会えたと

いうのはあるかもしれませんが、それよりも  
ずは目の前にある仕事をどれだけ一生懸命に  
取り組めるかで、仕事を好きになるか嫌いに  
なるかが変わってくるのかもしれないと思  
いました。自分には合わない。もつと自分に合  
った仕事があるはずだと転職を繰り返す人は  
何をやってても一緒に、何事も謙虚に努力する  
事で本当の仕事の意味がわかり、楽しさを味  
わう事が出来る様な気がします。  
小野さんは、自分が不器用だったから人の

二倍・三倍練習をして、どうすればよくなるかと考える事が良かったのかもしれないと仰<sup>✓</sup>つていました。秋山木工の秋山社長も同じ事を仰<sup>✓</sup>つていて、本気で取り組む事で向いてる向いていないではなく、その仕事为天職となつていくのかなと思いました。

そして、もつとよい方法はないかと試行錯誤を繰り返す事。色々な自己流の取り組みをされていて、基本に縛られるのではなく、練習の末辿り着いた<sup>☐</sup>二郎握り<sup>☐</sup>という握り方

も、その姿勢から生まれたのだと思います。頭を柔軟にして、より美味しくなる方法、より美肌になる方法を見つけ出していくのがプロフェツションナルです。また、ライバルであるロブションさんは、本当にプロ中のプロなんだなと驚きました。店に入って匂いがない事に驚いたと仰<sup>✓</sup>つていて、気付く点が違いシヤリだけを注文されたり、細かい温度の違いを見たりと、他人にはわからない感覚を持たれていると感じました。そして、小野さんも

その様になる取り組みを徹底的にされてい  
す。清潔感があるというコメントがあり、  
はりどこでも一流の店は掃除が隅々まで行き  
届いていらのだらうなと思いました。

先生の元で勉強させて頂き、今まで疑問に  
思わなかった事に対して様々な疑問を持つよ  
うになりました。人間力を高めなければ、沢  
山見逃している部分があるのだと感じます。  
クレンジングの仕方一つでも、もっとお肌  
負担なくメイクを落とすにはどうすればいい  
かなど、何事も深堀りをして追求する事を行  
っていきます。

今回も、この様な学びの深いDVDを貸し  
出し頂きありがとうございます。